

奨励賞



設計者

加藤詞史

東京建築士会、(株)加藤建築設計事務所

寺院

千葉県野田市

梅郷礼拝堂

構造・階数

木造

地上1階

敷地面積

2,970.85㎡

建築面積

220.41㎡

延床面積

193.58㎡

竣工

平成28年5月20日



A



B

選評

千葉県野田市郊外に立地する礼拝施設の再建と霊園の改修プロジェクトである。

建物は、竹林・日本庭園・池の三方向に沿って伸びる柔らかな曲線を持ち、自然と一体となった礼拝空間である。

平面は三方向に抜け、流動的に空間が折り重なり、シンプルで一室空間をひとつの架構で生み出している。構造は105角の木のピースを組み合わせて柱・梁が一体となり、「南京玉すだれ」のように線材がずれてつながる架構をつくり出している。この柱・梁は6種18本の「組柱」が三方向に組み合う相持ちで構成されている。規格長さの一般材を玉すだれのように組み合わせてできる内部空間は、合理性と創作性を併せ持つ構法が礼拝空間を厳正な場になっている。緻密な施工によって空間が構成されている点

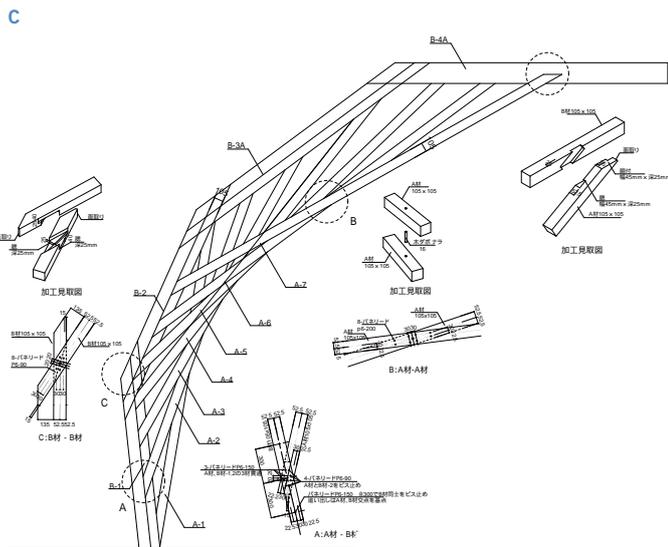
が建築の質を上げている。

また、木造建築の永続性の接合方法が考案されている。2つの材を相持ちで確保し交互に組み合わせ、木材の繊維と平行方向に支圧力が伝わる架構形状にすることで、木から木へと荷重が伝達する木組みである。

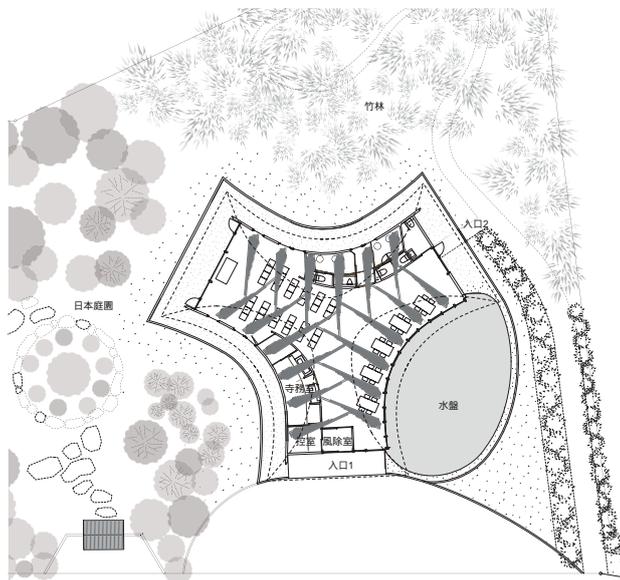
建築の特徴は屋根の形状にあり、さまざまな表情を持つ屋根面は反りと起りを持ち、見る方向によって表情を変えるなど周囲の風景に溶け込んでいる。

このように場所性が平面を生み出し、その平面が架構を考え、架構が屋根を生み出すという建築の過程を楽しんでいる点が、小粒だが秀逸な建築に仕上がっている。

(竹原義二)



組柱ユニット図



平面図



D



E



F

A 俯瞰。3方向に広がる屋根
 B 盆の行事を行う南側水盤
 C 南方向池側。池に反射した
 太陽光が天井に映る
 D 西側エントランス1

E 見る方向によって、屋根の形
 が変化して見える
 F 外観(夜景)
 写真A...畑 拓(彰国社)
 写真B~F...加藤詞史